

ボーリング柱状図


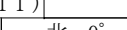

調 査 名

ボーリングNo

事業・工事名

東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(津市地区)

シートNo

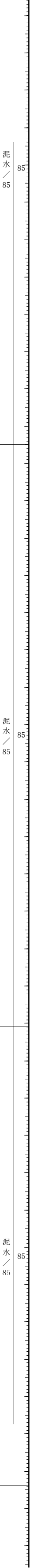
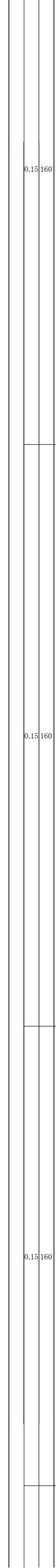
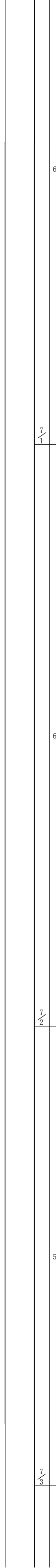
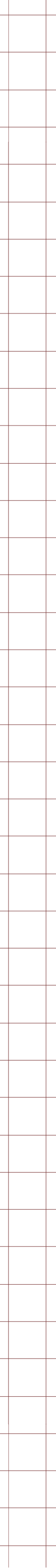
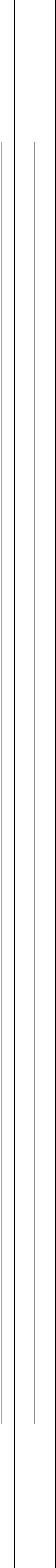
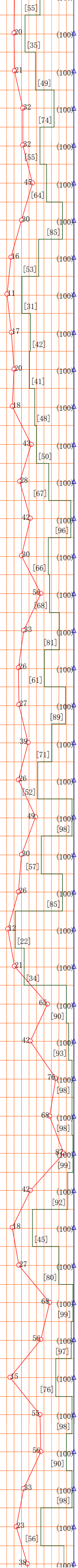
ボーリング名	孔 1（200.5～600.5m）		調査位置		三重県津市安濃町野口字稲子793-293					北緯	34°47'13.22"		
発注機関	独立行政法人 産業技術総合研究所				調査期間	平成 21年 4月 15日 ～ 22年 3月 10日					東経	136°24'06.66"	
調査業者名	株式会社 日さく 電話（052-432-0211）		主任技師		伊藤 健二		現代場人	伊藤 勉	コ鑑 定 者	ア 西脇 仁	ボーリング責任者	千葉 行夫	
孔口標高	163.12m	角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機	T S L - H D			
総掘進長	600.50m								エンジン	エンジン70Kw		ポンプ	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

514	−351.13	514.25		石英閃緑岩	く黒	B	m	b	β	ア表面はやや硬質。
	−351.68	514.80			灰〜暗緑		IV			片状〜角礫状コア。1片は5cm程度。岩片の風化やマサ化はあまりない。
515					暗青					
516				粗粒花崗閃緑岩	暗青	C	III	c	γ	棒状コア。局所的に破碎し、角礫状。基質部と斑晶部に区分される箇所もある。
517	−354.18	517.30			灰褐					
518	−355.38	518.50			淡灰		III	c		コア表面はやや脆く、局所的に粘土状。517.6mでは断層破碎帯、基質と岩片に区分される。
519				粗粒花崗閃緑岩	淡青	C	II		γ	棒状コア。一部微細割れ目が多く軟質。518.5〜518.9mでは、破碎しており、粘土状になる。
520	−357.43	520.55			灰白			d		
521					灰白	D	IV		δ	片状〜角礫状コア。粘土状の箇所が多く、コアは外周をなしていない。非常に脆い。
522	−359.08	522.20		中粒花崗岩	淡灰	C	III	c	γ	有色鉱物が少なく、細〜中粒。苦鉄質包有物を多く含み、ここでは破碎が顕著。
523	−360.83	523.95			灰白					
524	−361.93	525.05			淡白〜淡茶	D	III	d	δ	棒状〜片状コア。コア表面は粘土化している箇所が多く、非常に脆い。
525				中粒花崗岩	淡灰	C	III	c	γ	コア表面は変質しており、花崗閃緑岩と混合した様相を示す。525.3mでは断層破碎帯。
526	−363.58	526.70			白					
527					淡灰	B	III	b	γ	棒状コア、比較的硬質。局所的に微細割れ目が多く、表面はややザラザラしている。
528	−365.28	528.40		粗粒花崗閃緑岩	淡肌		III			棒状コア、一部片状。全体的に硬質であるが、一部で弱い変質が見られ、変色している。
529					白					531.6〜531.8mでは、微細割れ目が多く入り、コア表面は茶色に変色している。
530					淡肌	B		b	β	533.5mでは、10cm程度の石英閃緑岩の岩脈が認められる。 533.7mでは、30cm程度の石英閃緑岩の岩脈が認められ、岩脈内部に石英脈が注入している。
531				石英閃緑岩	淡肌		III			棒状コア。コアの連続性が良い。
532	−371.88	535.00			白		II			
533	−373.23	536.35			淡灰					
534				石英閃緑岩	灰黒	B	II		β	棒状コア。コアの連続性は比較的良く、変質も少ない。細粒で優黒質である。
535	−374.83	537.95						b		
536					灰黒	C	IV		γ	片状〜角礫状コア。割れ目は多いが、岩片の変質は少ない。石英脈を多く含む。
537	−376.58	539.70		粗粒花崗閃緑岩	白	B	II	b	β	棒状コア。変質は少なく、コアの連続性も良い。面構造が弱い。
538	−379.08	542.20			淡青					
539					淡青	A	I	a	α	棒状コア。非常に硬質。割れ目の風化もない。
540	−382.63	545.75		粗粒花崗閃緑岩	白		III			コア長5〜15cm程度の棒状コア。コア表面はやや酸化しているが、硬質。
541	−384.38	547.50			淡肌					
542					淡肌	B		b	β	片状コア。高角度の割れ目多い。岩片の変質は少ない。
543				粗粒花崗閃緑岩	淡肌		II			
544	−391.18	554.30			淡肌					
545	−391.68	554.80			茶褐	D	IV	c	γ	片状〜角礫状コア。マサ化しており、粘土状の箇所も有り。
546				粗粒花崗閃緑岩	淡肌					
547					茶褐					
548					茶褐					
549				粗粒花崗閃緑岩	淡肌					
550					茶褐					
551					茶褐					
552				粗粒花崗閃緑岩	淡肌					
553					茶褐					
554					茶褐					
555				粗粒花崗閃緑岩	淡肌					
556					茶褐					
557					茶褐					



[illegible]

[illegible]